

第78回国民スポーツ大会冬季大会成績概況

1 大会会期及び会場

【スケート競技会・アイスホッケー競技会】

会期:令和6年1月27日(土)～2月3日(土) 8日間 会場:北海道苫小牧市

【スキー競技会】

会期:令和6年2月21日(水)～2月24日(土) 4日間 会場:山形県

2 冬季大会総合成績

	競技得点	参加得点	総合得点	総合順位
天皇杯成績 ()内は昨年	62点 (58点)	30点 (30点)	92点 (88点)	15位 (17位)
皇后杯成績 ()内は昨年	21点 (16点)	20点 (20点)	41点 (36点)	17位 (20位)

3 各競技会成績

スケート競技会成績 ◇競技得点 成男 11点(12点) 成女 9点(5点) 少男 0点(5点) 少女 0点(0点) 合計 20点 (22点) ◇総合成績[参加得点10点含む] ※天皇杯 30点 19位(32点 20位) ※皇后杯 19点 19位(15点 21位)	()内は昨年成績
アイスホッケー競技会成績 ◇競技得点 成男 15点(0点) 少男 15点(25点) 合計 30点 (25点) ◇総合成績[参加得点10点含む] ※天皇杯 40点 5位(35点 6位)	()内は昨年成績
スキー競技会成績 ◇競技得点 成男 0点 (0点) 成女 6点 (5点) 少男 0点 (0点) 少女 6点 (6点) 合計 12点 (11点) ◇総合成績[参加得点10点含む] ※天皇杯 22点 12位 (21点 12位) ※皇后杯 22点 8位 (21点 6位)	()内は昨年成績

4 大会入賞者一覧

○スケート競技会

【スピード競技】

成年男子 1500m	小川 拓朗	4位	5点
成年男子 5000m	小川 拓朗	3位	6点
成年女子 1000m	上鹿度双葉	3位	6点
成年女子 500m	上鹿度双葉	6位	3点

○アイスホッケー競技会

【アイスホッケー競技】

成年男子	6位	15点
少年男子	6位	15点

○スキー競技会

【スキー競技】

成年女子 B ジャイアントスラローム	小番 聖夏	3位	6点
少年女子 ジャイアントスラローム	大西 美琴	3位	6点

5 5ヶ年競技成績比較

競技名	第75回大会		第76回大会		第77回大会		特別大会		第78回大会	
スケート	24		52		94		32		30	
アイスホッケー	50		10		30		35		40	
スキー	17		-		16		21		22	
天皇杯得点・順位	91.0点	19位	62.0点	19位	140.0点	7位	88.0点	17位	92.0点	15位
皇后杯得点・順位	20.0点	30位	22.0点	18位	52.0点	12位	36.0点	20位	41.0点	17位

6 冬季大会総括

【スケート】

<スピード>

上鹿渡双葉選手が成年女子 1000 m 3 位、500m 6 位に入賞した。更に成年男子小川拓朗選手は、1500 m 4 位、5000 m 3 位となり、スポーツ指導員 2 名の活躍が目立った。また、成年男子 2000 m リレーは決勝に進み、順位では 6 位でゴールしたが、バトンパスのオーバーゾーンによって失格となってしまった。

<ショートトラック>

少年男子と少年女子、成年男子から 3 名が出場したが、予選突破ができなかった。今後の更なる成長に期待したい。

【アイスホッケー】

成年男子、少年男子は共に準々決勝で東京都に惜敗し、順位決定戦は勝利したものの 5・6 位決定戦で敗戦となり 6 位入賞となった。両種別が入賞したのは 4 大会ぶりであった。

成年種別は、優勝候補の東京都を相手に互角の試合を展開し、第 2 ピリオド終了時点で 3-3 の接戦に持ち込んだ。最終第 3 ピリオドで失点し 3-4 の敗戦となったが、若い大学生とベテラン社会人の力が見事に融合し、チーム栃木の強い結束力が感じられる一戦となった。

少年種別は、同じく東京都を相手に幸先よく先制したが、直後に同点に追いつかれるなど一進一退の攻防が続いた。第 2 ピリオド終了間際に得点し、1 点リードして第 3 ピリオドを迎え猛攻に耐えていたが、終了 5 分前に失点し、延長戦へ。延長でも決着がつかず、その後のゲームウイニングショット戦までもつれこむ大接戦だったが、得点することができずに悔しい敗戦となった。

【スキー】

<ジャイアントスラローム>

今大会は暖冬による雪不足により、開催が危ぶまれるほどの状況であり、コンディションが悪くコースが当初予定の 3 分の 1 程度に短縮されたため、タイム差の無い接戦となった。成年女子 A の横尾彩乃選手は、3 年連続の入賞が期待されたが、9 位と入賞を逃した。成年女子 B の小番聖夏選手は昨年入賞の結果から有利とされる第 1 グループ 5 番での滑走となった。プレッシャーを感じさせない活躍を見せ昨年を上回る 3 位となり、3 年連続の入賞となった。少年女子の実力者である大西美琴選手は、第 1 グループ 3 番での滑走で実力を十分発揮し昨年に続き 3 位入賞を果たした。一方、活躍を期待されていた他選手はコース制限によるアップ不足やコースコンディションの影響もあり十分に実力を発揮できない選手もいた。上位入賞者は 1 秒以内の僅差であり滑走順も大きく影響した。

<クロスカントリー>

4 名の選手が出場し、各選手が全力で競技に挑んだが、上位選手との力の差は大きく、成年男子 C の中村友選手の 26 位が最高順位となり、残念ながら入賞者を出すには至らなかった。選手不足に苦しむ部分もあり、今後の普及強化等に期待したい。

今大会では、天皇杯 92 点を獲得し 15 位、皇后杯 41 点を獲得し 17 位となっており、前大会をやや上回る結果となった。この活躍を本大会へつなぎ、本県選手団の更なる活躍に期待したい。



医療法人社団 亮仁会
那須中央病院

理事長 臼井 健夫
院長 吉川 一郎

栃木県大田原市下石上1453番地

☎0287-29-2121

<http://www.nasuchuoh-hospital.jp>



附属・関連施設

- 透析センター
☎0287-29-2121
- 那須中央病院附属総合健診センター
☎0287-29-2525
- 介護老人保健施設 同仁苑
☎0287-26-2323
- さくら訪問看護ステーション
☎0287-29-3252
- 居宅介護支援事業所ケアプラン那須中央病院
☎0287-29-2126



アイスホッケー 少年男子
第6位



アイスホッケー 成年男子
第6位



スケート競技(スピード) 成年女子
1000m 3位 500m 6位
上鹿渡双葉選手



スケート競技(スピード) 成年男子
1500m 4位 5000m 3位
小川 拓朗選手(先頭)



ジャイアントスラローム 少年女子
第3位
大西 美琴選手



スキー競技会女子総合成績
皇后杯 第8位